

全国高校生短歌大会

第7回 万葉の郷とっとりけん

大伴家持・山上憶良ゆかりの地で短歌を詠もう！



Illustration: 武田愛子

作品募集

募集期間：令和7年6月6日(金)～9月4日(木)

本戦大会
審査員



大辻隆弘氏

歌人、「未来」編集発行人・選者、
宮中歌会始選者、現代歌人協会会員



穂村 弘氏

歌人、歌誌「かぼん」所属、
日経新聞歌壇選者



江戸 雪氏

歌人、「西瓜」同人、中之島歌会、
2022年度「NHK短歌」選者

令和7年11月8日(土) 13:30～15:45

とりぎん文化会館 第1会議室

応募・問合せ先

鳥取県地域社会振興部文化政策課（本庁舎6階）

〒680-8570 鳥取県鳥取市東町一丁目220 TEL. 0857-26-7133 FAX. 0857-26-8108

E-mail. bunsei@pref.tottori.lg.jp WEB. <https://www.pref.tottori.lg.jp/tanka/>

過去の大会の動画、入賞・入選作品、
審査員の講評なども掲載しています

万葉の郷とっとりけん 短歌大会

チーム部門

募集内容

1チーム3名(複数校での編成OK)

題を入れた短歌を1人1首創作して応募

題: 先鋒「時」 中堅「楽」 大将「表」

予選

書面審査により、本選大会出場4チームと入選作品を決定(9月下旬予定)

審査員:



大森 静佳氏

歌人
「塔」短歌会編集委員

小島 なお氏

歌人
「コスモス」短歌会選者
2020年度「NHK短歌」選者

本選大会

日 時: 令和7年11月8日(土) 13:30～ 対戦、表彰式
15:00～ 短歌トークセッション

▶ 出場チームは、大会後の交流会&万葉の郷ツアーに参加できます(無料)。

※交流会は、大会当日、本選大会審査員も交えて開催

万葉の郷ツアーは、鳥取市内の万葉集ゆかりの地や鳥取砂丘周辺をご案内(大会翌日の午前中を予定)

対戦方法: 4チームにより、トーナメント方式で準決勝2試合、決勝1試合の合計3試合を実施。
先鋒・中堅・大将戦で、作者による短歌の発表後、本選大会審査員との質疑応答を
経て、判定を行う。なお、参加者は万葉衣装を着用。

※準決勝は、予選に応募された作品により対戦する。決勝の題は募集要項に記載。

表 彰: 優勝、準優勝、敢闘賞(2チーム)、入選(若干数)

※優勝、準優勝、敢闘賞には副賞(図書カード等)あり。

交 通 費: 交通費・宿泊費として上限150,000円/チームを支給

対象:
全国の高中生

1人が両部門に応募OK

個人部門

募集内容

短歌(自由題)を1人1首創作して応募

審査員: 大辻隆弘氏、穂村 弘氏、江戸 雪氏、大森静佳氏、小島なお氏

表 彰: 審査員特別賞(5名:審査員が1首ずつ選定)、入選(若干数)

※審査員特別賞は、大会当日の表彰式にて表彰を行う(副賞あり)。

本人来場の際は、交通費・宿泊費(上限50,000円)を支給し、交流会や万葉の郷ツアーにも参加可能。

応募方法

指定様式により、ウェブサイトから、または電子メールで申込み

※詳細は募集要項をご覧ください(ウェブサイトに掲載)。



締切 令和7年9月4日(木) 必着



優勝チーム名: 「御露」(高田高等学校) ※学年は大会当時

先鋒 題「話」 通学カバン投げ捨てて会話も放棄してウミウシの棲む街へ行きたい 櫻井 つむぎ(1年)

中堅 題「細」 穏やかな湖面に雪の降るごとく細胞ひとつひとつ死にゆく 神田 実咲(2年)

大将 題「窓」 黒板に白く大きく革命と書く窓の結露は大粒になる 高取 ゆり(1年)

このほか前回の大会の様子や入賞句を鳥取県のウェブサイトやYouTubeで紹介しています!



主催: 鳥取県 とっとり県民カレッジ連携講座

後援: 鳥取県教育委員会 鳥取県高等学校文化連盟 鳥取県歌人会 朝日新聞鳥取総局 共同通信社鳥取支局 山陰中央新報社 産経新聞社 新日本海新聞社
時事通信社鳥取支局 中国新聞鳥取支局 毎日新聞鳥取支局 読売新聞鳥取支局 NHK鳥取放送局 TSKさんいん中央テレビ テレビ朝日鳥取支局
日本海テレビ BSS山陰放送 一般社団法人鳥取県ケーブルテレビ協議会(順不同)鳥取県は、大伴家持と山上憶良、万葉集を代表する二人の歌人が国司として赴任した地です。
家持が万葉集結びの歌を詠んだ地で、万葉衣装に身を包み、短歌を詠んでみませんか。